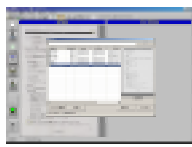
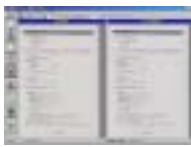
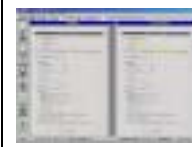
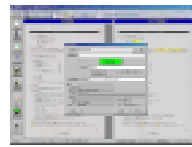


画像照合技術で印刷資材の受入検査を効率化

医薬品業界において目視検査が一般的な受入検査の効率化を実現

大日本印刷(株) / 赤川弘雅・(株)ヒューブレイン / 宮下啓一

1. マスタ呼出し	2. 検体取り込み	3. 照合・結果表示	4. 目視確認	5. 結果記録
			システムが 検出した差 異のみチェ ック	

<参考> 従来の一般的な受入検査の流れは次の通り。

1. ファイルから該当するマスタを探して抜き取る
2. 管理単位の印刷物から検体を抜き取る
3. マスタと検体を目視や読み合わせで検査する
4. 指定の用紙に結果を記入し、検体と合わせてファイリングする

第 2 図

第 3 図 印刷見本

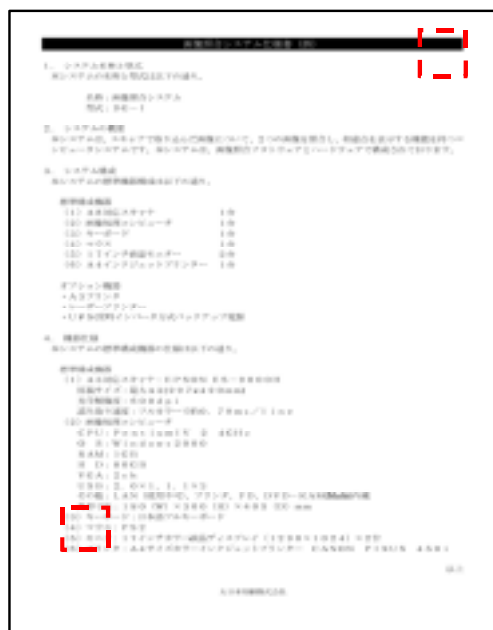


第 3 図 印刷見本

右上位置合わせウィンドウ



左下位置合わせウィンドウ

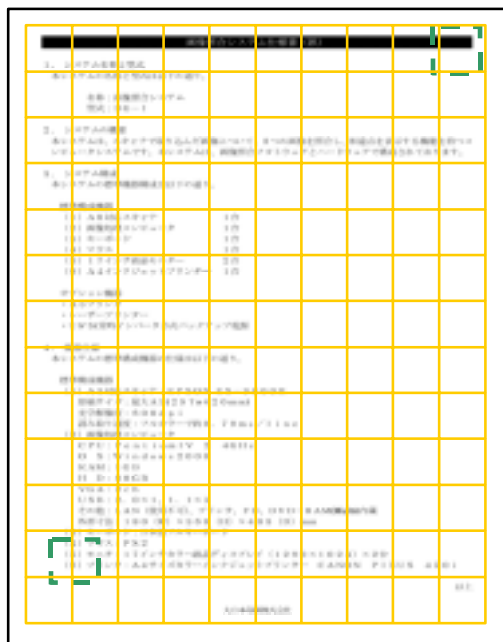


第 4 図

マスタ画像



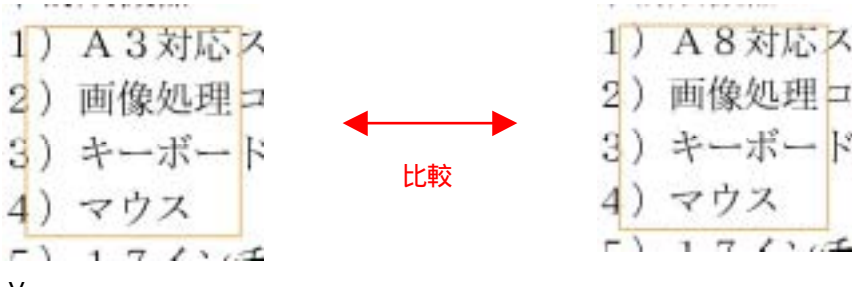
検体画像



第 5 図

マスタ画像・升目

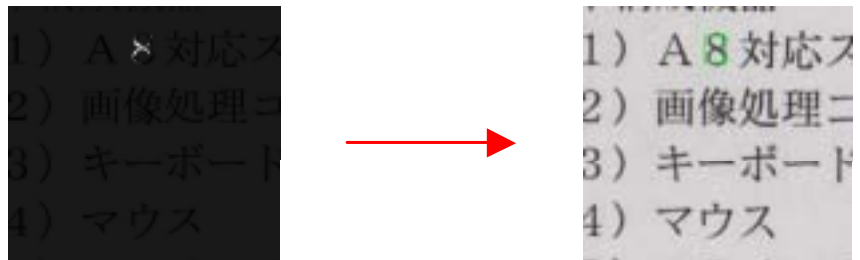
検体画像・升目



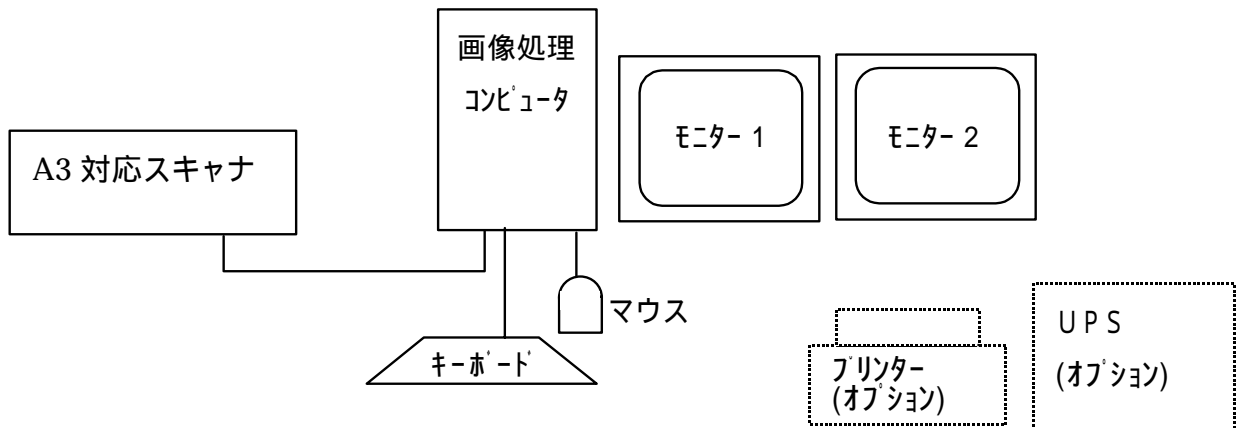
第 6 図

マスタ画像・升目

検体画像・升目



第 7 図



第 8 図